



東小学校便り

木 洩 れ 陽 α

令和4年10月14日 No.7

10月に入って2週間がたちました。先週までは夏の暑さを思わせていましたが、今週からは一気に秋が深まった感じがします。“秋冷の候”という言葉にぴったりな季節を迎えました。

さて、10月の詩を紹介します。今回はサトウハチロー氏による『さわると秋がさびしがる』という詩を紹介します。ご存じの方も多いと思いますが、メロディーもついています。歌の1、2、4番の歌詞をピックアップしています。たくさん子ども達が口ずさむといいなと思っています。

10月の詩 さわると秋がさびしがる サトウハチロー

ぼろんとこぼれた栗の実の いがの上にも秋がいる
しずかにしずかに さわるなさわるな
さわると秋がさびしがる

ぴちんとはじけたほうせんか たねにちょこんと秋がいる
しずかにしずかに さわるなさわるな
さわると秋がさびしがる

ぴょろんと鳴いてるこおろぎの ひげのふるえに秋がいる
しずかにしずかに さわるなさわるな
さわると秋がさびしがる

いよいよ明日は運動会。すべての学年の子ども達が、これまでたくさんの練習を積み重ねてきました。昨日までの予報では、土曜日の天気は曇りベースでした。ところが今朝になって各種天気予報が“晴れマーク”をつけました。おそらく、素晴らしい秋空が広がるのではないかと思います。入場門が立てられた運動場で、各学年が最後の運動会の練習に取り組んでいました。

